



市道の状況は954路線であり、実延長は681kmで舗装率は47・44%であります。また、橋梁の現状は261橋あり1橋が木橋であります。道路の維持管理については、簡易な対応を除き、全て委託で対応している状況であります。また道路愛護組合を通じて、市民の協力をいただき草刈り等も実施しています。橋梁については大半が昭和40年代に架けられた橋であり、今後架換が必要となり自治体にとっては財政的に大きな課題となる事が予想されます。行政も長寿命化計画を立てて維持管理にあたるこの方針であります。

道路・橋梁は「あつて当たり前」のように使用している

が、市民生活を安心安全に過するためには重要な設備であり、さらに災害時には人命にも大きく関わる事から、日常の維持管理の重要性が議論されました。特にパトロールにおけるチェック体制の強化を図り、マニュアル化する事が重要であるとの意見が出され、次の5点に留意し「道路・橋梁の維持管理」を求めました。

- ①道路・橋梁の資産台帳と点検、パトロール、補修内容、補修規模や補修工法を一元化させ、データベースを早急に策定すべきである。
- ②道路・橋梁の管理、改修のための財源確保について国に対し積極的に支援を求める。
- ③現状の把握をもとに工事の優先順位を策定し、中長期の改修計画を立案し工費の平準化を目指すべきである。
- ④道路の維持管理に対する市民の理解と協力をあらためて願うべきである。
- ⑤市民に向けて、道路・橋梁に関する情報を積極的に開示すべきである。

議会改革特別

本委員会は市民の信頼と負託に応えていくために更なる改革を進める必要性があることから、本年の第2回臨時会で設置されました。

□課題は「住民参加の推進」と「議員の資質向上」

はじめに、議会の使命と議員の職責、議会改革の必要性などを再確認したうえで、改選前の委員会において、改革推進のために今後の課題とした「常任委員会の傍聴促進」、「市民への公開を迅速に行うため議事録および会議録のIT化」、「議会報告会の開催」、

「議員の政治倫理の明確化」など10項目について、各委員の考え方や意見などの議論を進めて参りました。

特に住民参加をどう進めて行くかの議論では、更なる情報発信をすることが重要である。また、議員の資質向上への取り組みも必要との認識で意見の一致を見たところであります。今後は、課題項目の実施に向けて具体的な議論を進めて参ります。

□19年度の議員報酬は総支給額から10%を削減

なお議員報酬につきまして、議論の過程で「議員報酬を自ら議論することに問題はなか」、「月額報酬を削減

する方が分かり易い」、「議員の常勤化が進む中での適正な報酬はどうか」などの意見があり、報酬がどうあるべきかの議論を重ねて参りました。

本市では、三位一体改革による地方交付税の削減、市内経済の低迷などにより、大変厳しい財政運営になっていることから、「富良野市財政健全化計画」を策定して健全化に向けての本格的な取り組みが始まろうとしております。

そのような経過や現状を踏まえた議論の結果、本年度の議員報酬については、「議員自ら年間総支給額の10%削減を実施すべき」との結論に至り第3回定例会において提案し可決されました。

常任委員会の動き

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査・都市事例調査を行います。

●事務調査

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第4号	地震災害対策について
経済建設委員会	調査第5号	公営住宅について

●都市事例調査

委員会名	調査件名	調査地
総務文教委員会	地震災害対策について	室蘭市・苫小牧市
市民福祉委員会	介護保険と介護サービスについて	今金町・千歳市
経済建設委員会	公営住宅について	札幌市・長万部町